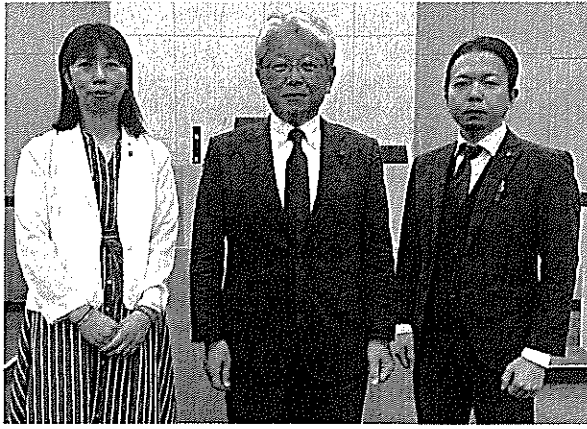




左から、やまわき紀子、鈴木智、武下涼の各議員
(2024年7月 市役所・議場にて)

日本共産党 蕨市議団ニュース

市民の信頼にこたえ くらし・営業を支える 市政の前進を

3・6月
議会報告

3月議会(2月21日~3月21日)
と6月議会(6月3~21日)の特
徴と日本共産党市議団の政策、
活動などをお知らせします。

市議団ホームページ

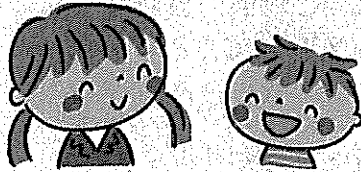


なお、詳細は
日本共産党市議
団ホームページ
の記事で紹介しています。

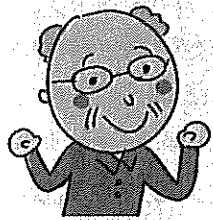
日本共産党市議団の政策が実る ~多くの市民要望が実現~

18歳・高校卒業までの医療費完全無料化

4月から、18歳・高校卒業に相当する年齢まで通院分も含めて医療費を無料とし完全無料化を実現します。党市議団は、中学卒業までの無料化に続き、一貫して子ども医療費の完全無料化の拡大を要望してきました。



高齢難聴者への補聴器購入費補助制度が実現



40~70デシベルが聞こえない中程度難聴の65歳以上の方を対象に1台限り4万円を上限とする助成制度がスタート。長年、市民団体が署名などに取り組みながら要望し、党市議団も議会などで必要性を強調してきました。

小・中学校トイレの洋式化4年で完了へ

4年間で全小・中学校トイレの洋式化をめざす方針が示されました。新年度は東、南、中央東の各小学校で未改修箇所全ての設計を行い2025年度に工事の予定。順次すすめる計画です。

学校給食費2人目以降の実質無償化が実現

15歳以下の児童・生徒を養育する世帯に2人目以降の給食費を償還払いで全額補助します。党市議団は、全児童・生徒の無償化に向け、国・県の対応と蕨市の一層の努力を要望しました。

※他にも、防犯カメラや防災行政無線、土のうステーションの増設、学校体育館空調設備の整備、带状疱疹ワクチン予防接種助成、産後ケア事業拡大、精神保健福祉手帳1級に福祉タクシー券交付、歯周疾患検診の定員拡大、折り畳み式もやすごみ回収BOXの拡充などが予算に盛り込まれました。

裏面に続く→

3月
議会

頼高市長の 施政方針

3月
議会

頼高市長は、新年度を「蕨市の新しい10年計画である『コンパクトシティ蕨』将来ビジョンIIのスタートの年」と強調しました。さらに新年度の事業などについては、「安全安心・エコシティ」「子どもの元気・未来創造シティ」「魅力と活力にぎわいシティ」「みんなで笑顔・健幸シティ」の重点プロジェクトとともに紹介。くらしを守り、飛躍にむけて全力をつくす決意を表明しました。

市立病院の建替え整備 ご意見をお寄せください

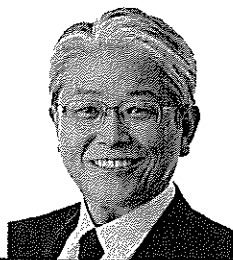
2028年度までに現在の西公民館・松原会館の敷地に移転・建替えが行われる市立病院。現在は、果たすべき役割や規模・機能などについて、審議会などで検討が行われています。

この機会に、どうぞ、皆様のご意見ご要望などを党市議団までお寄せください。今後の議論に生かします。

日本共産党市議団の一般質問から

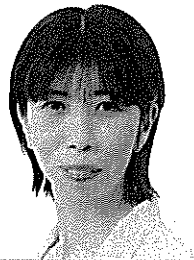
市議会議員
鈴木 智

6月
議会



市議会議員
やまわき紀子

6月
議会



市議会議員
武下 涼

3月
議会



◆大規模水害対策について

鈴木 大規模水害時の避難行動に関する取り組みはどのようなか。

市民生活部長 想定浸水深に達する洪水が想定される場合、避難所開設に合わせて避難情報を発令している。自ら迅速に最適な避難を判断することが重要。継続的に啓発を図る。

鈴木 避難方法を迷う市民もいる。より積極的な対応を要望する。一人暮らし高齢者など夜間等の避難が不安な人の予備的な避難場所の検討も要望する。

◆学校給食費無償化の推進を

鈴木 償還払いの解消や市税完納要件見直し等の改善はどうか。

教育部長 償還払い解消は難しい。給付時期や市税完納要件の見直しは検討する。

鈴木 完全無償化も推進を。

◆多文化共生についても質問

◆ひとり暮らし高齢者等への見守りについて

市長 重要な課題である。さまざまな認知症対策や見守り対策を行っていく。全高齢者調査も再開する。

◆「子育てするならわらび」保育園の待機児童は

健康福祉部長 保育園の不承諾者数は32人、待機児童数は0人。留守家庭児童指導室の不承諾者44人、待機児童数は0人。

◆学校トイレ洋式化を4年間で完了する考えは

市長 学校トイレ洋式化は24%から59%へと適時すすめてきた。切実度が高まっている。4年間で終わるように取り組んできたい。

◆要配慮者の避難行動についても質問



◆不登校支援について

武下 不登校への支援は。教育長 担任等が面談や家庭訪問。教育センターとも連携。

武下 フリースクールに通う児童・生徒への支援はどうか。

教育長 学級担任などが関わりを継続し支援している。

武下 「通いたい学校づくり」を子どもたちと行うことも大切。子どもの最善の利益・幸せを守る取り組みを期待する。

◆学習支援について

武下 学習支援事業の拡充は。健康福祉部長 新年度は経済的課題があるひとり親家庭も大学受験料などの支援対象。学習や将来への意欲を高める意義も。貧困の連鎖を断ち切るうえでも進学へのチャレンジを後押ししたい。

◆「建物の断熱強化」も質問

6月
議会

「インボイス制度は廃止を」「訪問介護報酬の引き上げを」切実な市民の願い・2件の陳情が不採択に 党市議団は賛成討論

6月議会で審議された「インボイス廃止を国に求める意見書を政府に送付することを求める陳情書」と「国に対して『訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を行うことを求める意見書』の提出を求める陳情」。どちらも、委員会審議では陳情者が切実な思いを訴えましたが、保守系や公明、維新の反対で

不採択に。党市議団は、委員会、本会議それぞれで賛成の立場から討論。インボイス制度が消費税増税やコロナ禍・物価高騰で苦しみ小規模事業者の重い負担になっていること、地域の介護を支える訪問介護事業者の苦しい状況を支える報酬改定が必要なことなどを紹介し、採択すべきと訴えました。

日本共産党 蕨市議団
ニュース

2024年8・9月号 TEL 443-8332 FAX 444-6531

〈市議会議員〉ご相談など、いつでもどうぞ
鈴木 智 444-6957 山脇紀子 446-3129
武下 涼 443-8332
ホームページ <http://www.jcp-warabi.jp>
メール info@jcp-warabi.jp

日本共産党市議会議員団は、鈴木、山脇、武下の3人の構成となりました。これからも広範な市民の皆さんと力を合わせてがんばります。

9月市議会報告

市民のくらしを守る 市政の前進を

日本共産党蕨市議団



日本共産党蕨市議会議員団

左から、鈴木智、やまわき紀子、武下涼の各議員

(2024年9月 市役所5階・議員控室にて)

9月定例市議会(9月2日～27日)の内容と日本共産党市議団の政策・活動を中心にお伝えします。なお、議会での詳しい様子は市議団のホームページの記事でも紹介していますので、ぜひご覧ください。

市議団ホームページ



市長提出議案のすべてを可決・認定 党市議団3人全員が一般質問

9月定例市議会では頼高英雄市長が提出した条例案2件、補正予算案3件、その他2件、決算認定9件を審議し、16件すべてを可決・認定しました。また、党市議団3人は全員が一般質問を行い、市民要求の実現を求めました。各議員の項目などについては2面で紹介しています。

12月以降も現行保険証の利用が可能 ～国保条例改正とマイナ保険証～

今議会で審議された国民健康保険税条例の改正は、法改正により12月2日からマイナンバーカードによる保険証に移行することへの対応が主な内容です。今議会の質疑では、①現在発行されている保険証は来年7月31日まで使えること、②それ以降、マイナ保険証を持たないひとでも市から送付される資格確認証により従来通り受診できること等を確認。誤解や混乱が生じないように丁寧な広報を要望しました。

党市議団は、現行保険証の存続を求める署名などの取り組みを市民との共同ですすめてきました。誰もが安心して医療が受けられるよう、引き続き取り組みを広げ、国にも要望していきます。

頼高英雄市長の市長報告～主な項目について～

議会初日に頼高市長が行った市長報告の一部を紹介します。

①全学校体育館へのエアコン設置が完了。②市立病院整備に伴い、現在の西公民館・松原会館等に移転する方針を決定。市民の意見を聞きながら施設等の検討を進めている。③民間留守家庭児童指導室「キッズクラブわらび東」を東小学校区で来年4月開設に向け整備。④新型コロナワクチン接種を「定期予防接種」として実施。10月1日～1月31日。対象は65歳以上の方と60～64歳までの基礎疾患のある方、自己負担額は3000円、非課税世帯等は事前の申請により無料。市長報告の全文は市ホームページでご覧いただけます。

あったか市政の成果 と物価高騰の影響など ～2023年度決算～

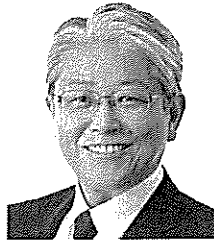
2023年度は、各地での戦争により国際的な緊張と経済などへの深刻な影響が広がった年であり、国内でも、国政の影響も相まって物価高騰による影響が深刻化しました。同時に、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会的な活動の再開が加速した年。蕨市では市役所庁舎が完成するなど未来に向けた期待が広がった年でもあります。

本会議では一般会計決算について、市財政や市民への影響、市政の果たした役割と成果、課題など25項目について質疑。一般会計以外についても各常任委員会でも積極的に議論しました。



国保、上下水道に関する県方針と影響などを質問

鈴木 智



◆国民健康保険税について
鈴木 負担増につながる県運営方針について目標年次の見直しなど求めている考えは。また、子どもの均等割減免についての見解は。

市民生活部長 国保税水準統一の妥当性・公平性の検証と見直しの検討を要望した。子どもの均等割減免は可否の検討が必要。

鈴木 国保加入者は、比較的低所得層が多い一方で、多額の医療費を要する年齢層も多く、構造的な問題がある。負担増を抑える対応と子どもの均等割り減免について改めて要望する。

◆水道・下水道事業

鈴木 埼玉県の水道用水供給事業の料金、下水道事業維持管理負担金の値上げについて内容や計画はどうか。

水道部長 県から水道用水を約 23%引き上げる料金改

定方針が示された。令和 8 年 4 月の改定を予定。

都市整備部長 下水道事業の維持管理負担金は 5 年ごとに単価が見直され、令和 7 年度からの単価の改定作業途中。県から値上げしたいとの説明がされている。

鈴木 影響はどのようなか。
水道部長 市は、令和 5 年度の受水量ベースで 7400 万円の負担増。料金改定を含めた検討が必要。

都市整備部長 値上げ幅に応じ、数千万円の市の負担増が生じる。適正な下水道使用料を検討したい。

鈴木 水は人にとって欠かせない。県に対して値上げの見直しを求めるとともに料金改定では慎重な検討・対応を要望する。

◆ほかに「障がい者入所施設の整備について」さらなる検討の推進を要望。

子育て支援、水害対策、公園整備などについて質問

やまわき紀子



◆「子育てするならわらび」子育て支援策について

やまわき 市長就任時と比較して保育園・留守家庭児童指導室の箇所数と定員の推移はどうか。待機児童数の変化はどうか。

健康福祉部長 市長就任時の平成 19 年度と現在を比較して保育園は 5 園から 28 園、定員 600 人から 1561 人。留守家庭児童指導室は、7 室から 21 室、定員 290 人から 795 人。待機児童は保育園では、平成 27 年度 33 人が今年度はゼロ。留守家庭児童指導室は、23 人が今年度はゼロ。

◆水害対策について

やまわき 南町ポンプ場付近の冠水被害の対応策はどうか。雨水貯留施設を設置する考えはないか。

都市整備部長 埼玉県に、緑川の拡幅整備等の推進を要望していく。錦町地区の雨

水管渠や雨水調整池の整備を進め、その後は慎重に対応する。

市長 大事な課題ではあるので検討していきたい。

◆公園や樹木等整備を

やまわき 南町桜並木遊歩道等の樹木の専門的な点検や安全対策を。

部長 昨年度は樹木匠による桜の状態を確認する診断を実施し 2 本の桜の伐採を行った。診断結果をもとに、樹勢状況の経過観察を続け適切な樹木管理に努める。

やまわき 南町には金網がある大きな公園が 3 つある。ボール遊びができる公園を南町から設置する考えは。

部長 南町には比較的大きな公園があるので新たなルールづくりや、すみわけをするなど整備を検討していきたい。

多様な行政課題への対応と取り組み

武下 涼



武下 人材育成基本方針の改定状況及び方向性は。

総務部長 社会情勢の変化や本市を取り巻く環境と変化していく中、より良い人材を育成・確保する観点から方針の見直しが必要。庁内の検討委員会を設置し改定に向け検討している。

武下 男性の育児休業取得状

況が伸び悩んでいるが。

総務部長 育児休業を取得した場合、育児休業手当金が支給されるが給与は不支給となるなど収入減となること、取得が難しくなる要因の 1 つと考えられる。

武下 特別休暇を創設した自治体など、先進自治体にならない

本市ならではの取り組みに昇華させてほしい。

◆ポイ捨てごみ等がないきれいなまちづくり

武下 市民や事業者との協働はどのようなか。

市民生活部長 日常的に市民や町会の方々が道路や公園等の清掃活動に励んでいただいているほか、市内一斉の清掃活動を行う等の取り組みを進めている。事業者においても自発的な清掃活動等を行っていただいている。市民や事業者、市が一体となり推進していく。

武下 路上喫煙禁止区域と区域外のたばこのポイ捨て状況の把握はどうか。

市民生活部長 禁止区域は委託業者が巡回指導・清掃を実施。以前より減少と聞いている。区域外は担当職員が現場で状況確認している。

武下 マナーやモラルに関わりポイ捨てをためらわせる空間づくりが重要。蕨駅西口再開発事業等の機会を捉え、きれいなまちづくりを強調し、環境美化が楽しくなる取り組みを要望する。

物価・地価の高騰による影響は深刻 くらしと営業への支援を要望

鈴木 物価高騰に加え地価の高騰傾向が続く。変動状況、市民生活への影響は。

総務部長 令和6年公示地価市内平均値は平成26年比で22%程度の上昇。影響は大きい。

市民生活部長 駅周辺店舗で賃料が上がった事例。商工会議所への飲食店からの相談は増加傾向にある。

鈴木 織りなすクーポンなど商店などを応援する施策を再び実施する考えは。相談体制の拡充を求める。

市民生活部長 物価高騰への支援は経済状況を注視し検討。商工会議所と連携し相談しやすい体制を推進。実効性ある支援に取り組む。

鈴木 市長の見解はどうか。

市長 くらしや営業を守る施策に取り組んできたが、状況はまだまだ厳しい。国の支援事業を迅速に行うとともに、生活や事業所を守る

支援を引き続き行いたい。さらに地価高騰の影響に対しては、相談窓口として全力をあげたい。

◆奨学金制度などの 拡充を

鈴木 高等教育の学費高騰も深刻。入学金貸付事業と奨学金貸与事業を給付制導入を含め拡充する考えはないか。

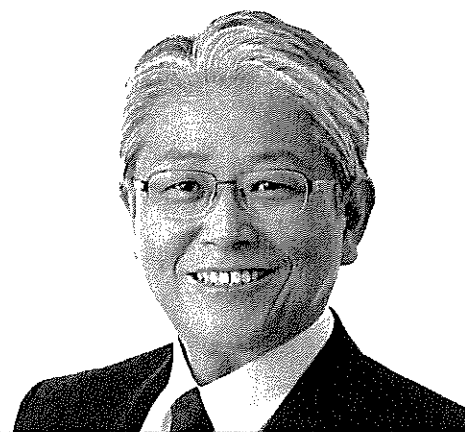
教育部長 給付型奨学金は効果的だが、安定的な財政確保の点で継続的な実施が困難になることを危惧する。

鈴木 市民の負担増が問題。貸付・貸与金額の増額や所得条件、市税納入条件などの見直しなど検討を要望する。

◆他に 市民の願いを活かした市立病院建替え

多文化共生の取り組みと人権尊重のまちづくり

「闇バイト」などの犯罪への対応・防犯対策を質問。



【鈴木さとしのプロフィール】

○1965年生まれ (株)第一経営相談所勤務 行政書士など

○市議6期 党市議団長 教育まちづくり常任委員会

○電話 444-6957

○主な活動地域

塚越2・3・6・7丁目 中央1・3・4・5丁目



やまわき紀子議員の 一般質問項目

- ◆被爆80年・平和都市宣言40周年、平和行政の推進を
- ◆図書館整備の検討状況について
- ◆包括的性教育の実施とユースクリニック設置を
- ◆子育て支援（保育申し込み状況、産後ケアなど）
- ◆市民要望（ファミリー菜園の清掃、緑川フェンス、空き地空き家の雑草）

蕨市物価高騰対策（第4弾）と物価高騰重点支援給付金

1月臨時議会で審議された物価高騰重点支援給付金と蕨市物価高騰対策（第4弾）の概要を紹介します。

物価高騰重点支援給付金 （追加給付分）

2024年度住民税均等割非課税世帯に1世帯当たり3万円を、対象世帯に属する18歳以下の子ども一人あたり2万円を給付します。

3月下旬頃の給付開始予定。

蕨市物価高騰対策

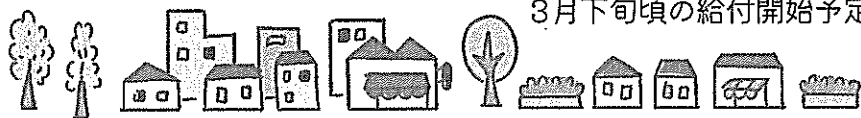
①ひとり親家庭等支援事業

2025年2月の児童扶養手当受給者で国の物価高騰重点支援給付金（前述）の受給対象ではない子ども一人に対し2万円を給付します。

3月下旬頃の給付開始予定。

②商工業活性化事業

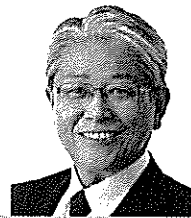
PayPayで使える商品券1万3千円分を一口1万円で合計3万5千口販売（一口3千円のプレミアム・一人最大5口まで）。消費活性化による事業者支援とくらしの応援。申込は6月、利用期間は7月から12月末までを予定。



日本共産党 蕨市議団ニュース

2025年2・3月発行
事務所
TEL 443-8332
FAX 444-6531

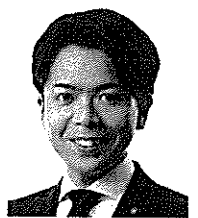
〈市議会議員〉ご相談など、いつでもどうぞ
鈴木 智 444-6957 山脇紀子 446-3129 武下 涼 443-8332
ホームページ <http://www.jcp-warabi.jp>
Eメール info@jcp-warabi.jp



鈴木 智



やまわき紀子



武下 涼



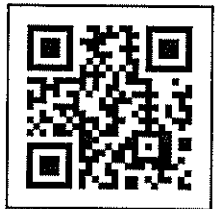
頼高英雄市長（左）に「2025年度予算編成に対する要望書」を手渡す鈴木市議団長（右）

くらしを守り、希望が広がる市政を ～日本共産党市議団が予算要望を提出～

11月18日、日本共産党蕨市議会議員団は、頼高英雄市長に「2025年度の蕨市予算編成に対する要望書」を手渡しました。

物価高騰がくらしや営業を直撃し不安が広がっている今日、くらしを支え市民との直接のふれあいを大切にする「あったか市政」の役割はいっそう重要です。予算要望では、市民の切実な願いを踏まえた市政運営、市立病院の移転・建替えなど未来に希望の持てるまちづくりを求め、要望項目 221 項目（内、重点要望は 20 項目）を掲げました。

詳細は市議団ホームページ（QRコード）をご覧ください。



日本共産党の予算要望・重点項目の概要

1. 市民のくらしと福祉を最優先した行政を

物価高騰対策の推進、障がい者くらしの場の整備、高齢者や障がい者の見守りネットワーク整備 など。

2. 安心できる子育て支援をすすめる 教育環境を充実する

待機児童ゼロ・保育士確保策の充実等の子育て支援策の強化、学校給食無償化・全学校トイレの洋式化等の教育施策・教職員の未配地対策等の教育施策。

3. 市民の願いを生かした 安全・安心のまちづくり

要援護者の安全対策と福祉避難所の整備、防犯灯等の増設、蕨駅西口再開発事業に市民の声を生かす、塚越ビジョンの検討推進、ボール遊びのできる公園整備 など。

4. 地域の営業を守る 中小企業支援・観光資源の充実を

リフォーム助成の拡充等中小企業の積極的な支援、公契約条例の制定など公共事業での労働環境の改善、歴史や文化を生かした事業の推進。

5. いのちと健康を守る 市立病院のさらなる充実を

公立病院・地域医療の拠点としての役割を明確にした病院経営、市民の願いをいかした移転建替え、国の医療改悪に反対を。

6. 市民に親しまれ 信頼される市役所に

安心できる公共施設の管理を、環境対策の一層の推進を、人権尊重・だれもが自分らしく生きられる蕨市を、戦後 80 年記念事業・平和行政の推進 など。



すべての市長提出議案を 可決 12月議会報告

12月17日、12月定例市議会は、市長提出議案 12 件を全会一致で可決し閉会しました。議案は、市立病院移転建て替えにかかわる錦町区画整理の事業計画変更にかかわる補正予算、第二中学校屋上防水及び外壁改修工事の追加などにかかわる契約などです。

日本共産党市議団の一般質問については裏面をご覧ください。

物価高騰対策第 4 弾など 可決 1 月臨時議会の報告

1月20日の臨時議会では、緊急対策第 4 弾や物価高騰重点支援給付金に関わる補正予算など 4 件の市長提出議案を可決しました。また新翔会が提案した市議会議員報酬の期末手当を引き上げる条例は、日本共産党などが反対したものの可決されました。

◆被爆80年・平和都市宣言40周年に 平和行政の推進を

総務部長 公民館等において平和事業は、冠事業として事業展開をしていく。記念式典のほか、周年事業としてふさわしい催しの開催を検討する。

市長 節目にふさわしい事業を検討していきたい。

◆市立図書館の整備

やまわき 図書館の跡地利用として南町分館として残せる可能性は。新しい図書館の運営形態について市長の见解は。

市長 時間延長やレファレンスサービスをやっていくために運営形態についてはよりよい図書館にするために検討していきたい。跡地利用についてはこれから庁内検討委員会を立ち上げ、検討していく。文化芸術のまちにふさわしい整備をしていきたい。

◆市民要望について

やまわき 南町第4ファミリー菜園については早急な清掃が必要で

あるかどうか。

市民生活部長 事業者と清掃日時等について現在調整中(12月12日実施済み)。

やまわき 緑川の県道からJR線路の間(第一中学校裏)の柵が危険なので早急な整備を。

都市整備部長 さいたま県土整備事務所から今年度中の改修を予定しているとの報告。

やまわき 空き家や空き地の雑草問題について相談件数と対応はどのように行われているか。

市民生活部長 昨年度は12件、今年度は11月末現在で12件。所有者の調査を行い、不良状態を改善するよう指導する旨の文書を発送。担当者が粘り強く、繰り返し要請を行い、適切な状態に改善するまで取り組みを継続している。

◆他に「包括的性教育とユースクリニックの設置」「子育て支援」を質問



【やまわき紀子のプロフィール】

- わらび生まれわらび育ち
- 現在、市議7期、環境福祉経済常任委員長、原水爆禁止蔵市協議会副会長。保育園、学童、小中高校PTA役員など歴任。
- 南町在住
- TEL・FAX446-3129



鈴木さとし議員の 一般質問項目

- ◆市立病院の建替え、役割と機能について
- ◆物価・地価の高騰による影響。商店や事業者等への支援・市民相談の拡充を
- ◆入学資金貸付・奨学金制度の拡充
- ◆多文化共生と人権尊重
- ◆「闇バイト」などに対する防犯対策

蔵市物価高騰対策（第4弾）と物価高騰重点支援給付金

1月臨時議会で審議された物価高騰重点支援給付金と蔵市物価高騰対策（第4弾）の概要を紹介します。

物価高騰重点支援給付金 （追加給付分）

2024年度住民税均等割非課税世帯に1世帯当たり3万円を、対象世帯に属する18歳以下の子ども一人あたり2万円を給付します。

3月下旬頃の給付開始予定。

蔵市物価高騰対策

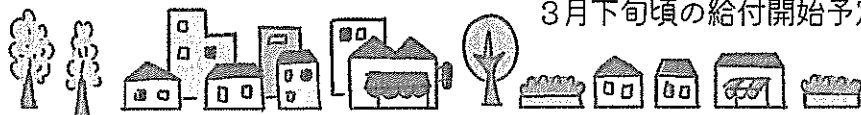
①ひとり親家庭等支援事業

2025年2月の児童扶養手当受給者で国の物価高騰重点支援給付金（前述）の受給対象ではない子ども一人に対し2万円を給付します。

3月下旬頃の給付開始予定。

②商工業活性化事業

PayPayで使える商品券1万3千円分を一口1万円で合計3万5千口販売（一口3千円のプレミアム・一人最大5口まで）。消費活性化による事業者支援とくらしの応援。申込は6月、利用期間は7月から12月末までを予定。



日本共産党 蕨市議団ニュース

2025年2・3月発行
事務所
TEL 443-8332
FAX 444-6531

〈市議会議員〉ご相談など、いつでもどうぞ
鈴木 智 444-6957 山脇紀子 446-3129 武下 涼 443-8332
ホームページ <http://www.jcp-warabi.jp>
メール info@jcp-warabi.jp



鈴木 智



やまわき紀子



武下 涼



頼高英雄市長（左）に「2025年度予算編成に対する要望書」を手渡す鈴木市議団長（右）

くらしを守り、希望が広がる市政を ～日本共産党市議団が予算要望を提出～

11月18日、日本共産党蕨市議会議員団は、頼高英雄市長に「2025年度の蕨市予算編成に対する要望書」を手渡しました。

物価高騰がくらしや営業を直撃し不安が広がっている今日、くらしを支え市民との直接のふれあいを大切にする「あったか市政」の役割はいっそう重要です。予算要望では、市民の切実な願いを踏まえた市政運営、市立病院の移転・建替えなど未来に希望の持てるまちづくりを求め、要望項目 221 項目（内、重点要望は 20 項目）を掲げました。

詳細は市議団ホームページ（QRコード）をご覧ください。



日本共産党の予算要望・重点項目の概要

すべての市長提出議案を可決 12月議会報告

12月17日、12月定例市議会は、市長提出議案 12 件を全会一致で可決し閉会しました。議案は、市立病院移転建て替えにかかわる錦町区画整理の事業計画変更にかかわる補正予算、第二中学校屋上防水及び外壁改修工事の追加などにかかわる契約などです。

日本共産党市議団の一般質問については裏面をご覧ください。

物価高騰対策第 4 弾など可決 1 月臨時議会の報告

1月20日の臨時議会では、緊急対策第 4 弾や物価高騰重点支給付金に関わる補正予算など 4 件の市長提出議案を可決しました。また新翔会が提案した市議会議員報酬の期末手当を引き上げる条例は、日本共産党などが反対したものの可決されました。

1. 市民のくらしと福祉を最優先した行政を

物価高騰対策の推進、障がい者くらしの場の整備、高齢者や障がい者の見守りネットワーク整備 など。

2. 安心できる子育て支援をすすめる 教育環境を充実する

待機児童ゼロ・保育士確保策の充実等の子育て支援策の強化、学校給食無償化・全学校トイレの洋式化等の教育施策・教職員の未配地対策等の教育施策。

3. 市民の願いを生かした 安全・安心のまちづくり

要援護者の安全対策と福祉避難所の整備、防犯灯等の増設、蕨駅西口再開発事業に市民の声を生かす、塚越ビジョンの検討推進、ボール遊びのできる公園整備 など。

4. 地域の営業を守る 中小企業支援・観光資源の充実を

リフォーム助成の拡充等中小企業の積極的な支援、公契約条例の制定など公共事業での労働環境の改善、歴史や文化を生かした事業の推進。

5. いのちと健康を守る 市立病院のさらなる充実を

公立病院・地域医療の拠点としての役割を明確にした病院経営、市民の願いをいかした移転建替え、国の医療改悪に反対を。

6. 市民に親しまれ 信頼される市役所に

安心できる公共施設の管理を、環境対策の一層の推進を、人権尊重・だれもが自分らしく生きられる蕨市を、戦後 80 年記念事業・平和行政の推進 など。



被爆80年・平和都市宣言40周年に平和行政の推進を

総務部長 公民館等において平和事業は、冠事業として事業展開をしていく。記念式典のほか、周年事業としてふさわしい催しの開催を検討する。

市長 節目にふさわしい事業を検討していきたい。

物価・地価の高騰による影響は深刻

くらしと営業への支援を要望

議員 物価高騰に加え地価の高騰傾向が続く。変動状況、市民生活への影響は。

総務部長 令和6年公示地価市内平均値は平成26年比で22%程度の上昇。影響はおおきい。

市民生活部長 駅周辺店舗で賃料が上がった事例。商工会議所への飲食店からの相談は増加傾向。

議員 織りなすクーポンなど商店などを応援する施策を再び実施する考えは。相談体制の拡充を求める。

市民生活部長 物価高騰への支援は経済状況を注視し検討。商工会議所と連携し相談しやすい体制を推進。実効性ある支援に取り組む。

議員 市長の見解はどうか。

市長 くらしや営業を守る施策に取り組んできたが、状況はまだまだ厳しい。国の支援事業を迅速に行うとともに、生活や事業所を守る支援を引き続き行いたい。さらに地価高騰の影響に対しては、相談窓口として全力をあげたい。

奨学金制度などの拡充を

議員 高騰教育の学費高騰も深刻。入学金貸付事業と奨学金貸与事業を拡充する考えは。

教育部長 給付型奨学金は効果的だが、安定的な財政確保の点で継続的な実施が困難になることを危惧する。

議員 市民の負担増が問題。貸付・貸与金額の増額や所得条件、市税納入条件などの見直しなど検討を。

市立図書館の整備

議員 図書館の跡地利用として南町分館として残せる可能性は。新しい図書館の運営形態について市長の見解は。

市長 時間延長やレファレンスサービスをやっていくために運営形態についてはよりよい図書館にするために検討していきたい。跡地利用についてはこれから庁内検討委員会を立ち上げ、検討していく。文化

芸術のまちにふさわしい整備をしていきたい。

空家・空地の雑草問題

議員 空き家や空き地の雑草問題について相談件数と対応はどのように行われているか。

市民生活部長 昨年度は12件、今年度は11月末現在で12件。所有者の調査を行い、不良状態を改善するよう指導する旨の文書を送付。担当者が粘り強く、繰り返し要請を行い、適切な状態に改善するまで取り組みを継続している。

他に

◆市民の願いを活かした市立病院の建替え

◆多文化共生の取り組みと人権尊重のまちづくり

◆「闇バイト」などの犯罪への対応・防犯対策

◆「包括的性教育とユースクリニックの設置」を質問。



2月17日から3月定例会市議会がスタート 左から山脇、鈴木、武下の各議員

蕨市物価高騰対策（第4弾）と物価高騰重点支援給付金

1月臨時議会で審議された物価高騰重点支援給付金と蕨市物価高騰対策（第4弾）の概要を紹介します。

物価高騰重点支援給付金（追加給付分）

2024年度住民税均等割非課税世帯に1世帯当たり3万円を、対象世帯に属する18歳以下の子ども一人あたり2万円を給付します。

3月下旬頃の給付開始予定。

蕨市物価高騰対策

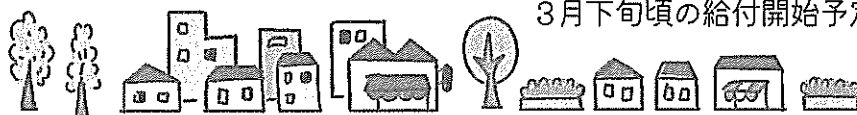
①ひとり親家庭等支援事業

2025年2月の児童扶養手当受給者で国の物価高騰重点支援給付金（前述）の受給対象ではない子ども一人に対し2万円を給付します。

3月下旬頃の給付開始予定。

②商工業活性化事業

PayPayで使える商品券1万3千円分を一〇1万円で合計3万5千円販売（一〇3千円のプレミアム・一人最大5〇まで）。消費活性化による事業者支援とくらしの応援。申込は6月、利用期間は7月から12月末までを予定。



日本共産党 蕨市議団ニュース

2025年2・3月発行
事務所
TEL 443-8332
FAX 444-6531

〈市議会議員〉ご相談など、いつでもどうぞ
鈴木 智 444-6957 山脇紀子 446-3129 武下 涼 443-8332
ホームページ <http://www.jcp-warabi.jp>
メール info@jcp-warabi.jp



鈴木 智



やまわき紀子



武下 涼



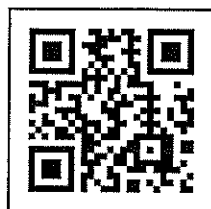
頼高英雄市長（左）に「2025 年度予算編成に対する要望書」を手渡す鈴木市議団長（右）

くらしを守り、希望が広がる市政を ～日本共産党市議団が予算要望を提出～

11 月 18 日、日本共産党蕨市議会議員団は、頼高英雄市長に「2025 年度の蕨市予算編成に対する要望書」を手渡しました。

物価高騰がくらしや営業を直撃し不安が広がっている今日、くらしを支え市民との直接のふれあいを大切にする「あったか市政」の役割はいっそう重要です。予算要望では、市民の切実な願いを踏まえた市政運営、市立病院の移転・建替えなど未来に希望の持てるまちづくりを求め、要望項目 221 項目（内、重点要望は 20 項目）を掲げました。

詳細は市議団ホームページ（QR コード）をご覧ください。



日本共産党の予算要望・重点項目の概要

1. 市民のくらしと福祉を最優先した行政を

物価高騰対策の推進、障がい者くらしの場の整備、高齢者や障がい者の見守りネットワーク整備 など。

2. 安心できる子育て支援をすすめる 教育環境を充実する

待機児童ゼロ・保育士確保策の充実等の子育て支援策の強化、学校給食無償化・全学校トイレの洋式化等の教育施策・教職員の未配地対策等の教育施策。

3. 市民の願いを生かした 安全・安心のまちづくり

要援護者の安全対策と福祉避難所の整備、防犯灯等の増設、蕨駅西口再開発事業に市民の声を生かす、塚越ビジョンの検討推進、ボール遊びのできる公園整備 など。

4. 地域の営業を守る 中小企業支援・観光資源の充実を

リフォーム助成の拡充等中小企業の積極的な支援、公契約条例の制定など公共事業での労働環境の改善、歴史や文化を生かした事業の推進。

5. いのちと健康を守る 市立病院のさらなる充実を

公立病院・地域医療の拠点としての役割を明確にした病院経営、市民の願いをいかした移転建替え、国の医療改悪に反対を。

6. 市民に親しまれ 信頼される市役所に

安心できる公共施設の管理を、環境対策の一層の推進を、人権尊重・だれもが自分らしく生きられる蕨市を、戦後 80 年記念事業・平和行政の推進 など。



すべての市長提出議案を 可決 12月議会報告

12月17日、12月定例市議会は、市長提出議案 12 件を全会一致で可決し閉会しました。議案は、市立病院移転建て替えにかかわる錦町区画整理の事業計画変更にかかわる補正予算、第二中学校屋上防水及び外壁改修工事の追加などにかかわる契約などです。

日本共産党市議団の一般質問については裏面をご覧ください。

物価高騰対策第 4 弾など 可決 1 月臨時議会の報告

1月20日の臨時議会では、緊急対策第 4 弾や物価高騰重点支援給付金に関わる補正予算など 4 件の市長提出議案を可決しました。また新翔会が提案した市議会議員報酬の期末手当を引き上げる条例は、日本共産党などが反対したものの可決されました。